大　使　館　情　報

2021 年９月

【目次】

１．ブラジル・マクロ経済情勢

（１）経済情勢
（２）経済政策等
（３）金融政策
（４）為替市場
（５）株式市場

２．ブラジル政治情勢

［内政］

（１） 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
（２） 連邦最高裁判所によるボルソナーロ大統領に対する調査の開始
（３） ボルソナーロ政権支持デモの発生
（４） 投票記録印刷方式の導入に関する憲法修正案の否決
（５） ボルソナーロ大統領に対する刑事告発の受理
（６） 連邦最高裁判所判事に対する弾劾請求
（７） 検事総長の再任
（８） ボルソナーロ政権の支持率

［外交］

（１） レベロ・デ・ソウザ葡大統領の訪伯
（２） シャルマ COP26 議長の訪伯
（３） サリバン米国家安全保障担当大統領補佐官の訪伯
（４） 域内関係
（５） アルブケルケ鉱山・エネルギー大臣の訪米
（６） ハイチ震災対応のための人道支援ミッションの派遣
（７） エンバロ・ギニアビサウ大統領の訪伯
（８） アフガニスタン在住伯人の国外退避

３．トピックス

山田大使のサンパウロ州訪問

４．大使館からのお知らせ

（１）文化イベント
（２）外務省海外安全ホームページ
（３）ブラジル渡航情報

１．ブラジル・マクロ経済情勢

（１）経済情勢（８月発表の経済指標）※GDP 及び貿易収支は９月発表

（ア）2021 年第２四半期（４～６月）の実質 GDP 成長率は、前期比▲0.1%（季調済）と４四半期ぶりのマイナス成長となり、前年同期比+12.4%と２四半期連続のプラス成長となった。

（イ）６月の鉱工業生産指数は前月比 0.0%と前月から横ばいとなった。前年同月比では+12.0%となった。

（ウ）６月の小売売上高は前月比▲1.7%、前年同月比+6.3%となった。

（エ）全国の失業率（2021 年第２四半期（４～６月））は 14.1%となり、３～５月の移動平均 14.6%から 0.5%ポイント低下し、同第１四半期の 14.7%からは 0.6%ポイント低下した。前年同期比（2020 年第２四半期：13.3%）では 0.8%ポイント上昇した。

（オ）７月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.96%となり、前月（0.53%）から上昇幅は 0.43%ポイント拡大、７月単月としては 2002 年７月（前月比+1.19%）以降で最大の上昇率。直近 12 カ月累計は+8.99%となり、前月（同+8.35%）から上昇幅は 0.64%ポイント拡大。

（カ）2021 年８月の貿易収支は 76.6 億ドルの黒字。2021 年１～８月の累計は 520.3 億ドルの黒字。

（キ）伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）に関して、８月 27 日時点で、GDP 成長率予測については、2021 年は 5.22%（前週より 0.05%ポイント低下）で、2022 年は 2.00%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2021 年は 7.27%（前週から 0.16%ポイント上昇）で、2022 年は 3.95%（前週から 0.02%ポイント上昇）となった。

（２）経済政策等

（ア）８月９日、ボルソナーロ大統領は、新たな社会保障制度アウシーリオブラジル（Auxilio Brasil）を導入するための暫定措置令を議会に提出。11 月に発効予定で、既存の制度ボルサファミリアの代替となる。

（イ）８月９日、ボルソナーロ大統領は、政府が裁判で敗訴した際に発生する企業や個人に対する債務であるプレカトーリオ（Precatorio）について、45 万５千レアル以上のものは 10 年間の分割で支払うとの憲法修正案（PEC）を議会へ提出。

（ウ）６月に議会に提出された税制改正案は、７月及び８月に担当議員により修正が加えられた。下院において８月中に審議され投票が行われる予定であったが、更に修正が必要とされ延期となっている。

（エ）８月５日、郵便局民営化法案は下院を通過。

（３）金融政策

８月３日及び４日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は、政策金利であるSelic金利を100bp引上げ5.25%とすることを決定した。政策金利に引上げは３月、５月、６月に続き４会合連続。次回会合は９月21、22日に開催予定。

（４）為替市場

（ア）８月の為替市場は5.14～5.41レアル/ドルで推移。

（イ）月の前半は、伯中銀が政策金利の引上げ幅を拡大するとの見方等からレアル高になるものの、大統領と司法の対立や、新社会保障制度アウシーリオブラジルの導入や税制改革案の投票延期といった政治や財政への先行き不安を背景にレアル安となる展開。

（ウ）月の後半は、アフガニスタン情勢を背景とした地政学的リスクをはじめ、米国金融緩和の早期縮小観測や、コモディティ価格低下を背景にレアル安が進んだものの、財政懸念を払拭する高官発言や、米FRB議長が米国金融緩和について資産買入規模の縮小は年内に着手する可能性があるものの、利上げには厳しい基準を設ける等との発言でレアル高に戻す展開。

（５）株式市場

（ア）８月の株式市場は116,643～123,577ポイントで推移。

（イ）月の前半は、国内企業等の良好な業績を好感して上昇するも、感染拡大や財政の見通しへの不安から下落する展開。

（ウ）月の後半は、感染拡大による経済への見通し、鉄鉱石価格の下落、米国金融緩和の早期縮小観測により下落するも、月下旬の米FRB議長による低金利が当面継続するとの発言で持ち直す動き。

２．ブラジル政治情勢（８月の出来事）

【内政】

（１） 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

8月に行われた新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会（CPI）において、次の証人が供述を行った。ゴメス・デ・パウラ牧師（NGO団体SENAH創設者）（3日）、ブランコ元保健省ロジスティクス部補佐官（4日）、ソリーゴ元保健省補佐官（5日）、アルメイダInstituto Força Brasil代表（10日）、バチスタVitamedic社社長（11日）、リカルド・バーホス下院政府院内総務（12日）、マルケス連邦会計検査院（TCU）職員（17日）、シルヴ

ェイラ弁護士（18 日）、マキシミアーノ Precisa 社 CEO（19 日）、カトーリ Belcher 社社長（24 日）、ペレイラ・ラモス・ジュニオル Fib Bank 社社長（25 日）及びサンターナ元医薬品市場規制委員会（CMED）委員長（26 日）。

（２） 連邦最高裁判所によるボルソナーロ大統領に対する調査の開始

8 月 4 日、モラエス連邦最高裁判所（STF）判事は、ボルソナーロ大統領が電子投票の安全性及び投票システムの不正に関する主張を行ったとし、同大統領に対する調査を直ちに開始することを決定した。

（３） ボルソナーロ政権支持デモの発生

8 月 7 日、ボルソナーロ大統領は、サンタカタリーナ州フロリアノーポリス市にて行われた政権支持バイクデモに参加し、投票記録印刷方式（注）の導入を主張した。（注：電子投票を行うと同時に当該投票記録を印字した用紙が発行される投票方式。なお、同用紙は、有権者による記載内容確認後に回収される。）

（４） 投票記録印刷方式の導入に関する憲法修正案の否決

8 月 10 日、下院本会議にて投票記録印刷方式の導入に関する憲法修正案（PEC）にかかる第 1 回目の票決が行われ、賛成 229、反対 218 で否決された。

（５） ボルソナーロ大統領に対する刑事告発の受理

8 月 12 日、STF は、選挙高等裁判所（TSE）によって提起されたボルソナーロ大統領に対する刑事告発を受理した旨発表した。同告発によれば、連邦警察が秘密裏に進めていた TSE に対するハッキングに関する調査につき、同大統領が機密情報を漏洩したものとされる。

（６） 連邦最高裁判所判事に対する弾劾請求

8 月 20 日、ボルソナーロ大統領は、モラエス STF 判事の弾劾請求を上院に提出した。25 日、本件弾劾請求は、パシェコ上院議長により却下された。

（７） 検事総長の再任

8 月 24 日、上院においてアラス検事総長の再任が承認されたことに伴い、同検事総長の任期は 2023 年 9 月まで延長された。

（８） ボルソナーロ政権の支持率

8 月 17 日、IPESPE 社（XP Investimentos 社委託）による世論調査の結果が

発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は23%（前回調査（7月実施）：25%）に下落し、不支持率は54%（前回調査：52%）に上昇した。

【外交】

（１） レベロ・デ・ソウザ葡大統領の訪伯

8月2日、ボルソナーロ大統領は、大統領府においてレベロ・デ・ソウザ葡大統領の訪問を受けた。伯外務省のプレスリリースによれば、伯葡両国大統領は、文化、経済、貿易及び多国間関係の分野における両国間の意見の合致を再確認し、新型コロナ禍収束後の経済回復を促進するとの相互のコミットメントを新たにした。

（２） シャルマ COP26 議長の訪伯

8月4日、モウラォン副大統領は、訪伯中のシャルマ国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）議長と伯外務省にてワーキンググループ会合を行った。なお、同会合にはフランサ外相、クリスチーナ農務相、レイテ環境相及びロシャ大統領府戦略問題特別局（SAE）長官が同席した。

（３） サリバン米国家安全保障担当大統領補佐官の訪伯

8月5日、ボルソナーロ大統領は、ブラジリアを訪問中のサリバン米国家安全保障担当大統領補佐官と会談を行い、伯米両国のパートナーシップの重要性につき確認した。また、同補佐官は、ブラガ・ネット国防大臣、モウラォン副大統領、ロシャ SAE 長官、エレーノ大統領府安全保障局長官、ファリーア通信大臣及び法定アマゾン地域諸州知事と会談した。

（４） 域内関係

（ア）8月12日、モウラォン副大統領及びフランサ外務大臣は、訪伯中のラミレス・コロンビア副大統領兼外務大臣と会談し、地域及び多国間政策の課題に加え、保健、貿易、投資、観光及び国境協力に焦点を置き、二国間アジェンダにつき協議した。

（イ）8月13日、フランサ外務大臣は、ブラジリアを訪問中のラムディン・スリナム外務大臣と会談を行い、二国間協力アジェンダ、特にエネルギー等戦略的な分野でのパートナーシップの見通し等につき意見交換を行った。

（ウ）8月31日、フランサ外務大臣は、ブラジリアを訪問中のアラマン・チリ外務大臣と会談を行い、二国間アジェンダ並びに域内及び国際問題等につき協議した。

（５） アルブケルケ鉱山・エネルギー大臣の訪米

8 月 18 日、アルブケルケ鉱山・エネルギー大臣は、ワシントンにおいてターク米エネルギー省副長官と会談し、伯米両国のエネルギー分野の二国間アジェンダ及び二国間協力の今後につき協議した。

（６） ハイチ震災対応のための人道支援ミッションの派遣

8 月 18 日、伯政府は、同月 14 日に発生したハイチ地震に対する緊急対応のため、同国に人道支援ミッションを派遣することを決定した。23 日、同ミッションは、浄水装置や医薬物資と共にポルトープランス市に到着した。

（７） エンバロ・ギニアビサウ大統領の訪伯

8 月 24 日、ボルソナーロ大統領は、エンバロ・ギニアビサウ大統領の公式訪問を受けた。両国大統領は、農業、保健及び防衛につき協議した。ボルソナーロ大統領は、会談後の記者会見において、ギニアビサウを訪問することをエンバロ大統領と約束した旨述べた。

（８） アフガニスタン在住伯人の国外退避

8 月 30 日、伯外務省は、アフガニスタン在住であった伯人 2 名とその家族らを 27 日～29 日にかけて待避させることに成功したと発表した。

３．トピックス

山田大使のサンパウロ州訪問

８月 11～13 日、山田大使はサンパウロ州を訪問。ジャパンハウス・サンパウロの「スポーツラウンジ：東京 2020」等の視察や、カンピーナス大学付属病院を訪問し、日本政府による新型コロナ対策資機材の供与式に出席するとともに、日本と 20 年以上にわたる協力の歴史を持つ同大学真菌ラボ（LEMDI）を視察。その他、CNPEM（国立材料エネルギー調査センター）及び加速器シリウスの視察、日伯援護協会を訪問しリベルダーデ医療センターについても視察。

ダリオ・サージ・カンピーナス市長を表敬訪問し、日本と同市の協力や日系社会・企業の活動に関し意見交換を実施した他、フォーリャ・デ・サンパウロ本社におけるセルジオ・ダヴィラ編集長、カンピーナス日伯文化協会、サンパウロ商業組合（ACSP）、ブラジル日本商工会議所とも意見交換を行った。

カンピーナス大学真菌ラボ（LEMDI）視察

ブラジル日本商工会議所での意見交換

カンピーナス市長表敬訪問

カンピーナス日伯文化協会との意見交換

４．大使館からのお知らせ

（１）文化イベント

（ア）ブラジリア大学との共同研究シンポジウム（在ブラジル大使館）※実施済

日時：９月１日～３日　９時～１１時

場所：オンライン（日本学術振興会 YouTube チャンネルを想定）

内容：日本学術振興会とブラジル側 CAPES の二国間交流事業として共同研究論文６本のオンライン報告会を実施。３日には山田大使が日伯関係について基調講演を行う予定。

（イ）ブラジリアＩＢＭＥＣ大学での山田大使講演（在ブラジル大使館）

日時：９月１７日（金）１９時～２０時４０分

場所：ＩＢＭＥＣ大学ウェブサイト
内容：同大学講座「国際関係論」にて山田大使が「日本と南米、日本とブラジル～歴史と展望～」について講演を予定。

（ウ）第１３回文協統合フォーラム（在ブラジル大使館）
日時：９月１８日（土）１９時～
場所：文協 YouTube チャンネル
内容：日系社会の知見交換を目的としたオンラインイベント。山田大使が挨拶予定。

（エ）パライーバ日本祭（在レシフェ総）
日時：９月２４日（金）及び９月２５日（土）
場所：オンライン
内容：第１６回目を迎えるパライーバ日本祭をパライーバ伯日文化協会との共催で行う。本年は日本の音楽に焦点を当て、日本からも尺八演奏者が参加予定。

（オ）Diálogos e Intercâmbios （国際交流基金）※実施済
日時：９月１日　２０時～
サイト：SESC-SP HP（参加に際しては８月３０日までの予約が必要）
SESC-SP YouTube（イベント後、公開配信）
内容：CPT_SESC-SP 演劇研究所主催の対談シリーズの一環として、３世代に渡るアーティスト達（日本の演出家 小池 博史をはじめ、ブラジルの舞踏ダンサー Emilie Sugai、舞台芸術専門家 Eduardo Okamoto）による、演劇やダンスをテーマとしたオンライン対談を実施。

（カ）Japão em Casa -「ごま料理」（国際交流基金）
日時：９月上旬予定
サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP
国際交流基金サンパウロ日本文化センター YouTube
内容：日本文化を家庭で楽しんで頂くことを目的とし、専門家による丁寧な解説付き動画(ポルトガル語･スペイン語字幕付き)を配信する事業。今回は「ごま料理」をテーマとして、野菜のごま和えと手作りごまドレッシングのレシピを紹介する。

（キ）Destaques da Biblioteca - setembro/2021（２０２１年９月）図書館の図書紹介）（国際交流基金）
日時：９月３０日（木）予定
サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP
内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館の蔵書から、毎月図書を紹介する。９月は、日本語能力試験に関する教材を紹介する。

（ク）Biblioteca Literária Online（国際交流基金）
日時：９月３０日（木）予定
サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP
内容：毎回１名の日本の作家をテーマに、様々な角度から分析・解説したエッセーを発信する。

（２）外務省　海外安全ホームページ

（ア）各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。
http://www.anzen.mofa.go.jp/

（イ）世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ１３の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021 年３月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。
https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

（ウ）各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き　ブラジル」を作成し公開している。
https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

（エ）各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和３年度第１四半期）は以下のリンク先から。
https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

（３）ブラジル渡航情報

（ア）危険情報
最新更新日：2020 年６月 25 日
http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html
以下の地域が「レベル１：十分注意してください。」となっている。
・ブラジリア連邦区

・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
・リオデジャネイロ州大リオ圏
・アマゾナス州大マナウス圏
・ロライマ州北部
・パラー州大ベレン圏
・ペルナンブコ州大レシフェ圏
・バイア州大サルバドール圏
・セアラ州大フォルタレーザ圏
・エスピリトサント州大ビトリア圏
・パラナ州大クリチバ圏
・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

（イ）安全対策基礎データ
最新更新日：2020 年８月６日
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html
主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

（ウ）テロ・誘拐情勢
最新更新日：2019 年６月 10 日
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

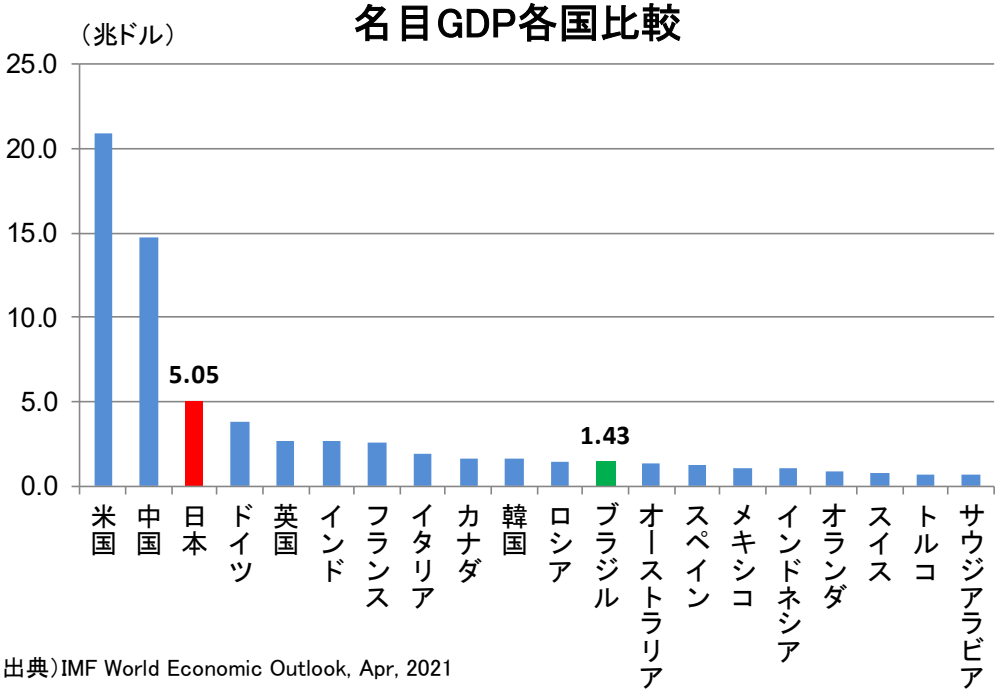
ブラジル経済・二国間経済関係概観

2021年９月号

Ⅰ．経済構造

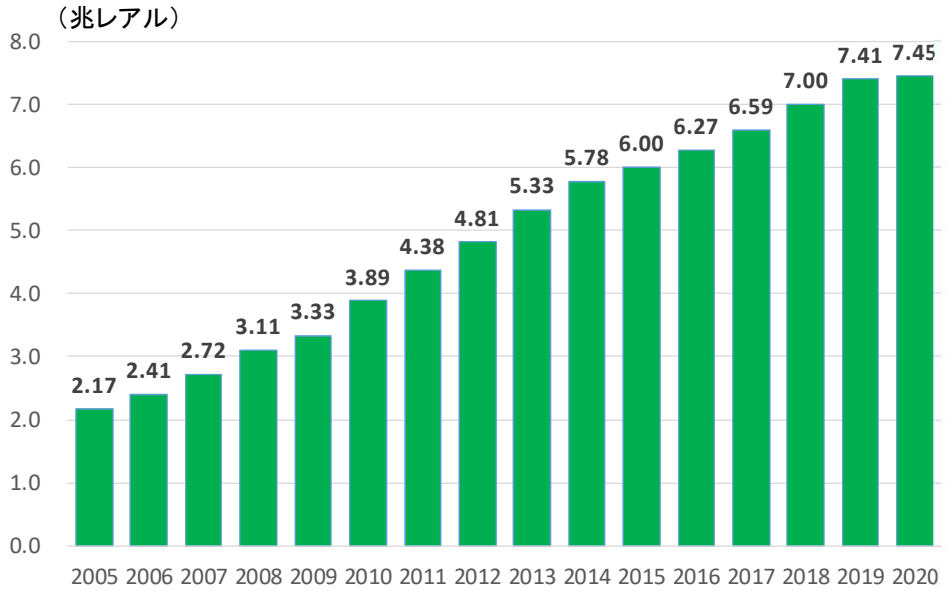
1. 人口約2億1,176万人、面積約851万km²（2020年）
2. 世界第12位の経済規模（名目GDP約1兆4,341億ドル（2020年）：日本の約28%）。一人当たりGDP（約6,783ドル（2020年））は、日本の約17%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産（GDP）額では第三次産業（サービス業）が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成（投資）といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較



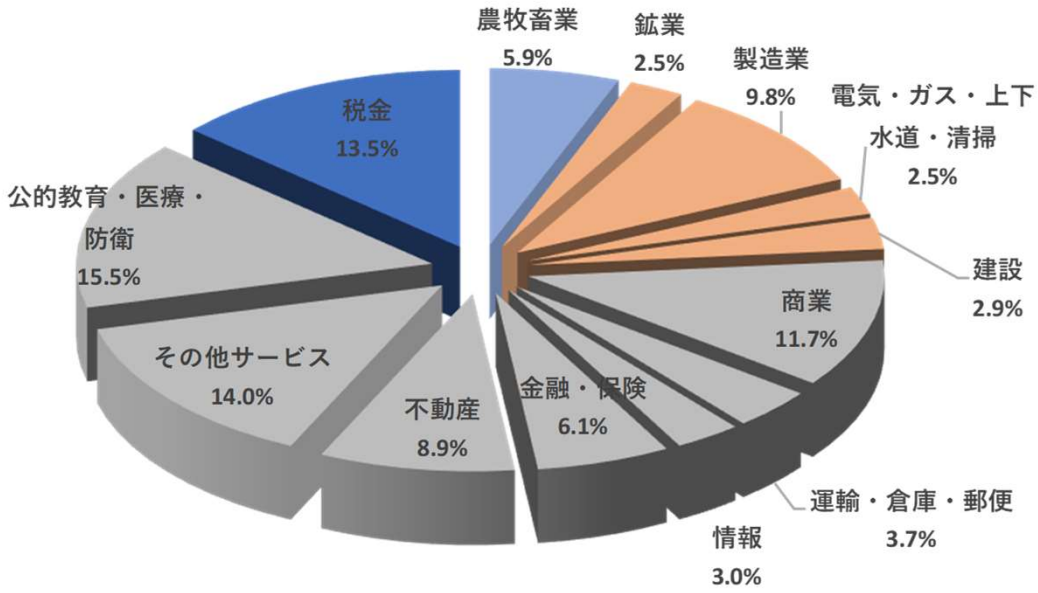
（出典）IMF World Economic Outlook, Apr, 2021

名目GDPの推移



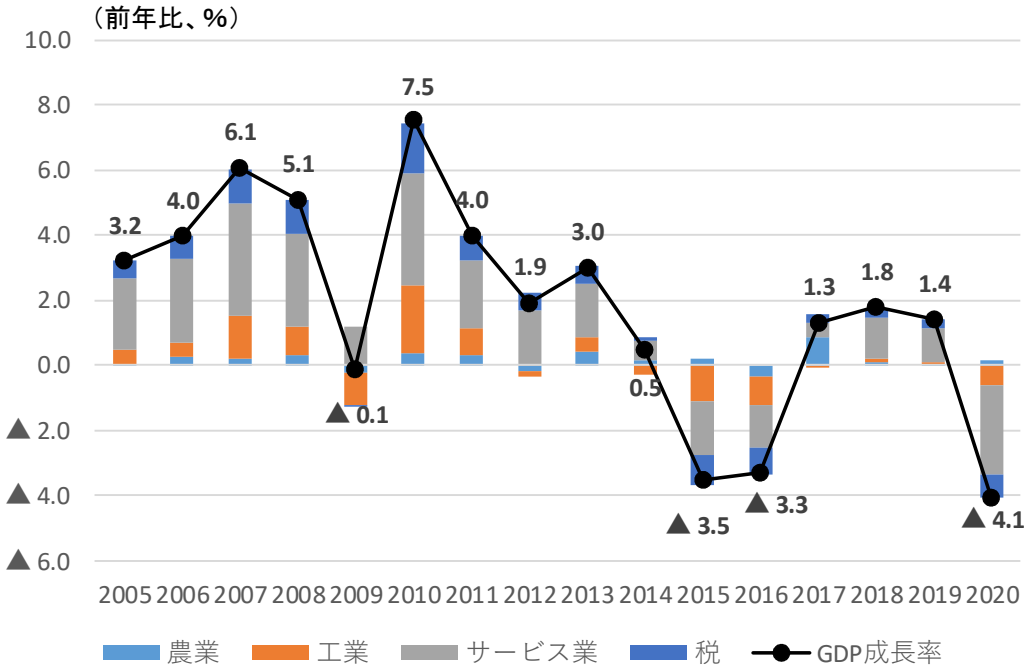
（出典）伯地理統計院（IBGE）

名目GDPの産業別構成比（2020年）



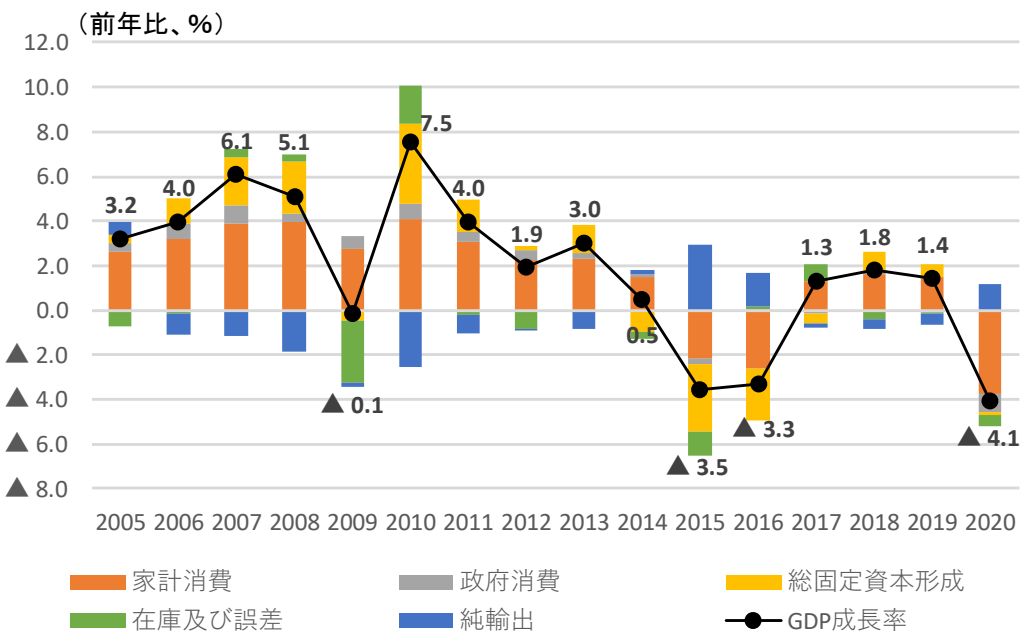
（出典）伯地理統計院（IBGE）

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（暦年）



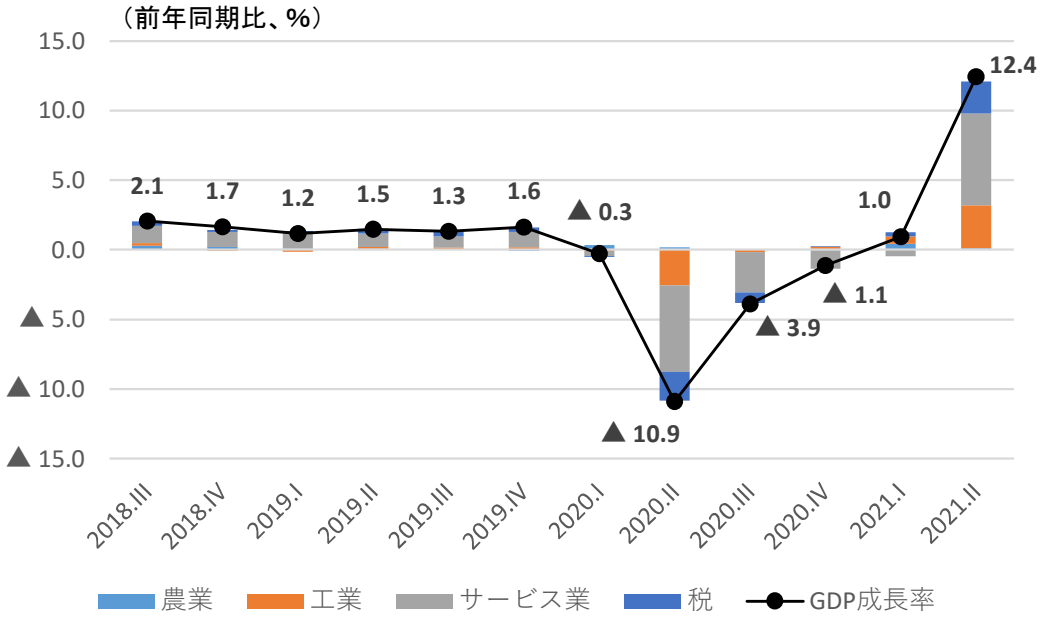
（出典）伯地理統計院（IBGE）、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（暦年）



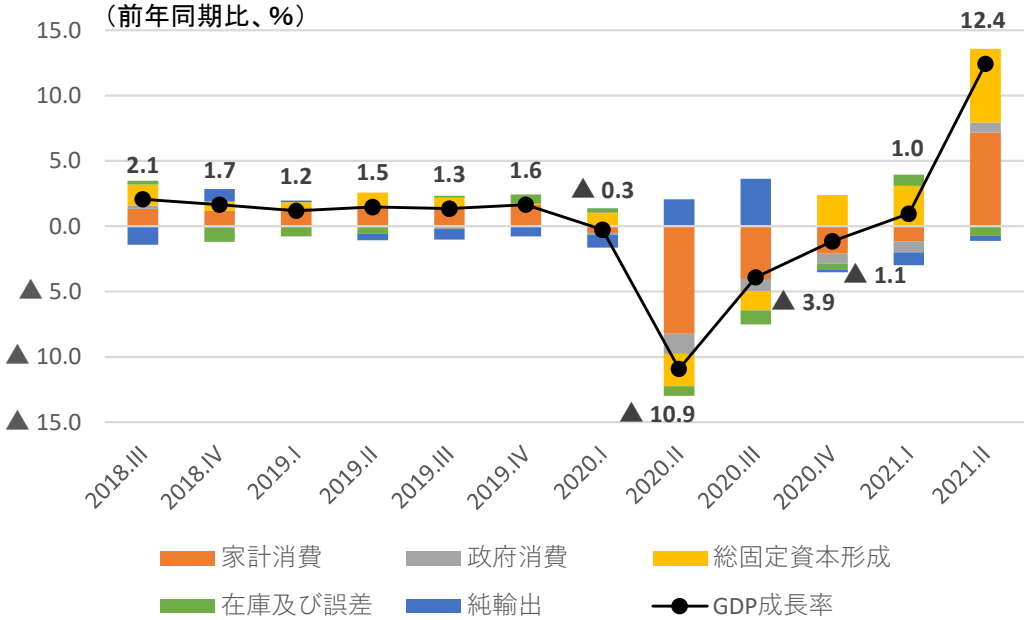
（出典）伯地理統計院（IBGE）
※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除したもの

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（四半期）



（出典）伯地理統計院（IBGE）、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（四半期）



（出典）伯地理統計院（IBGE）
※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除したもの

II. 経済の現状

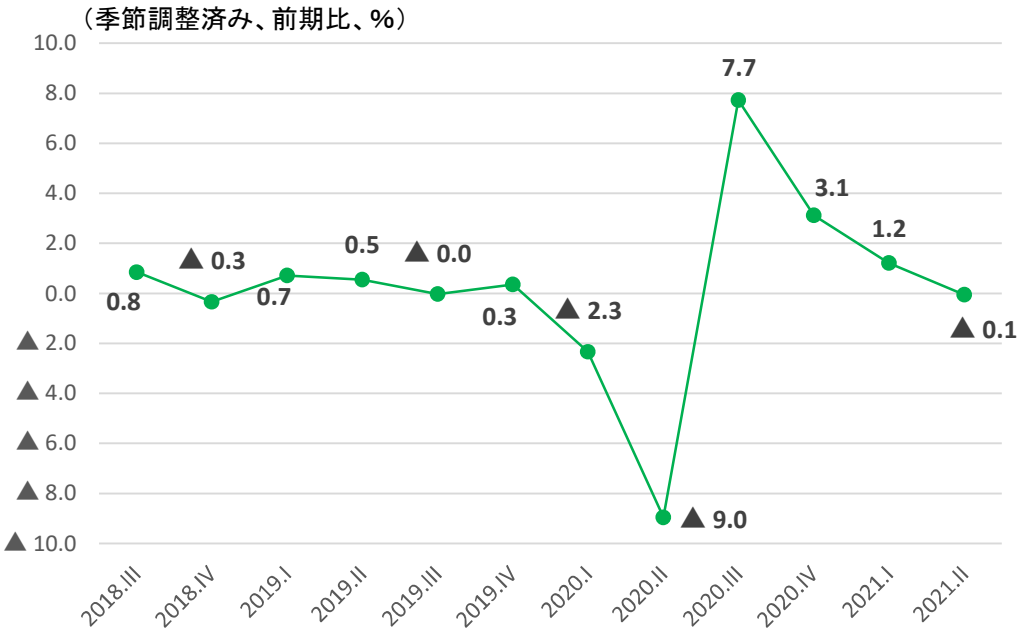
ブラジル地理統計院（IBGE）が9月に発表した2021年第2四半期のGDP成長率は、前期比▲0.1%（4四半期ぶりのマイナス成長）、前年同期比＋12.4%（2四半期連続のプラス成長）となった。

（%、括弧内の数値は寄与度）

		前期比（季調済）		前年同期比（原数値）	
実質GDP		**▲ 0.1**		**12.4**	
産業別	**農業**	**▲ 2.8**	**(▲ 0.2)**	**1.3**	**(0.1)**
	工業	**▲ 0.2**	**(▲ 0.0)**	**17.8**	**(3.1)**
	鉱業	5.3	(0.0)	7.0	(0.1)
	製造業	▲ 2.2	(▲ 0.2)	25.8	(2.3)
	電気、ガス、水道	▲ 0.9	(▲ 0.0)	6.7	(0.2)
	建設業	2.7	(0.1)	13.1	(0.6)
	サービス業	**0.7**	**(0.4)**	**10.8**	**(6.6)**
	商業	0.5	(0.0)	20.9	(1.4)
	運輸、倉庫、郵便	0.1	(0.0)	25.3	(0.6)
	情報、通信	5.6	(0.2)	15.6	(0.7)
	金融、保険	0.3	(0.0)	1.4	(0.2)
	不動産	0.4	(0.0)	3.5	(0.4)
	その他サービス業	2.1	(0.2)	16.1	(1.8)
	公共サービス	0.0	(0.0)	4.1	(0.6)
需要項目別	**家計消費**	**0.0**	**(0.0)**	**10.8**	**(7.1)**
	政府消費	**0.7**	**(0.1)**	**4.2**	**(0.8)**
	総固定資本形成	**▲ 3.6**	**(▲ 0.8)**	**32.9**	**(5.6)**
	輸出（財・サービス）	**9.4**	**(1.3)**	**14.1**	**(2.2)**
	輸入（財・サービス）	**▲ 0.6**	**(▲ 0.1)**	**20.2**	**(2.6)**
	純輸出（財・サービス）	**-**	**(1.4)**	**-**	**(▲ 0.4)**

（出典）伯地理統計院（IBGE）
産業別及び需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算したもの。

実質GDP成長率の推移（四半期）



（出典）伯地理統計院（IBGE）

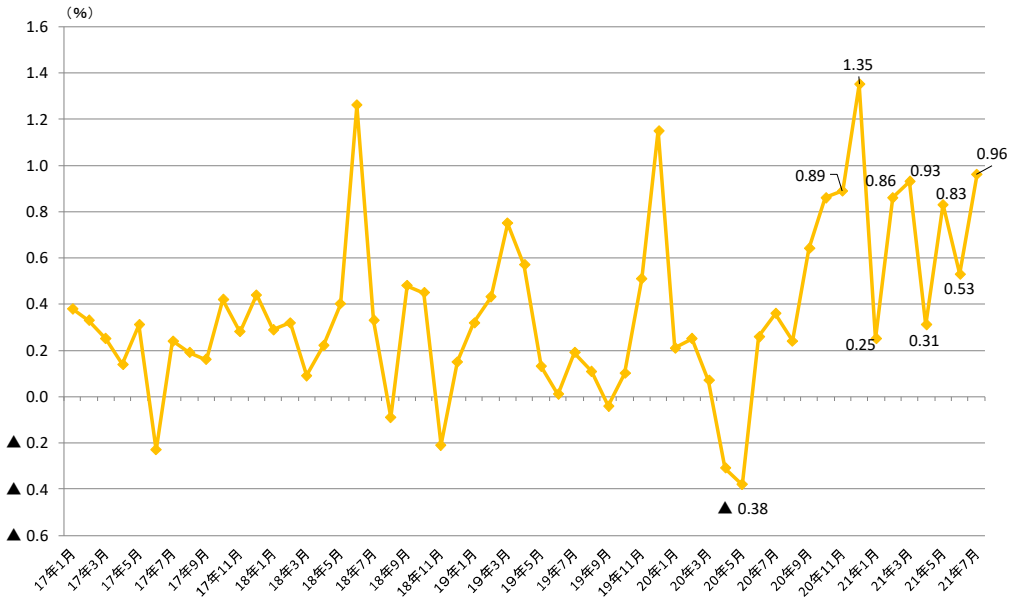
各機関による2021年のGDP成長率予測

世銀	+3.0%（2021年4月）	
IMF	+5.3%（2021年7月）	
伯経済省	+3.5%（2021年5月）	+5.3%（2021年7月）
伯中銀	+4.0%（2021年5月）	+4.6%（2021年6月）
伯中銀 Focus	5.22%（2021年8月27日）	

物価の動向

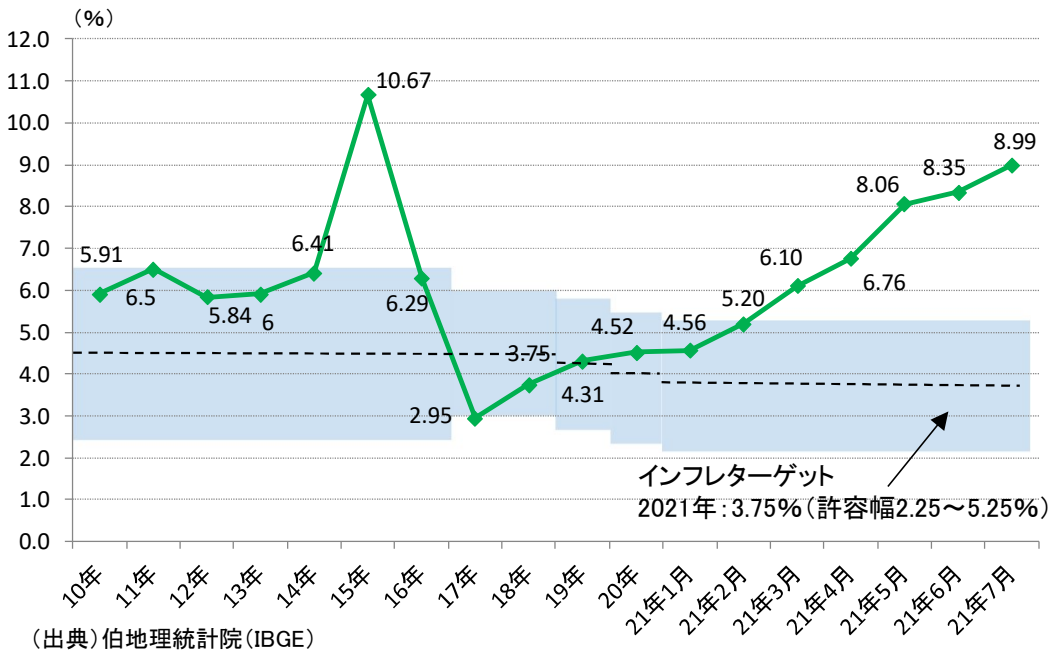
7月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.96%、直近12か月累計では8.99%となった。

拡大消費者物価指数（IPCA）上昇率の推移（各月）



（出典）伯地理統計院（IBGE）

拡大消費者物価指数（IPCA）上昇率の推移（12か月累計）



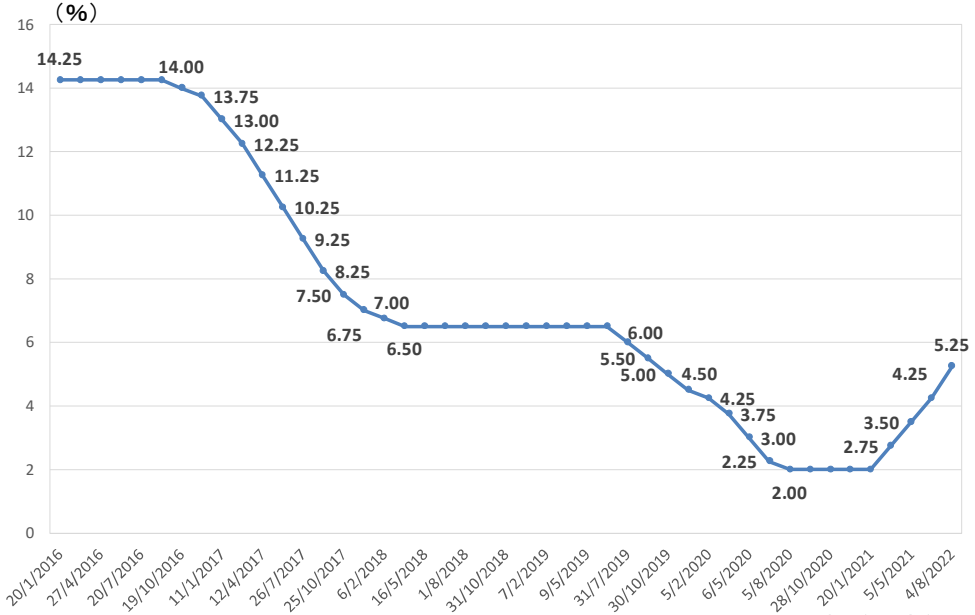
（出典）伯地理統計院（IBGE）

政策金利

8月3～4日、伯中央銀行金融政策委員会（COPOM）が開催され、政策金利（Selic）を100bp引き上げて5.25%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引上げは3月、5月、6月に引き続き4回連続。

次回会合は9月21、22日に開催。

政策金利の推移（2016年～）

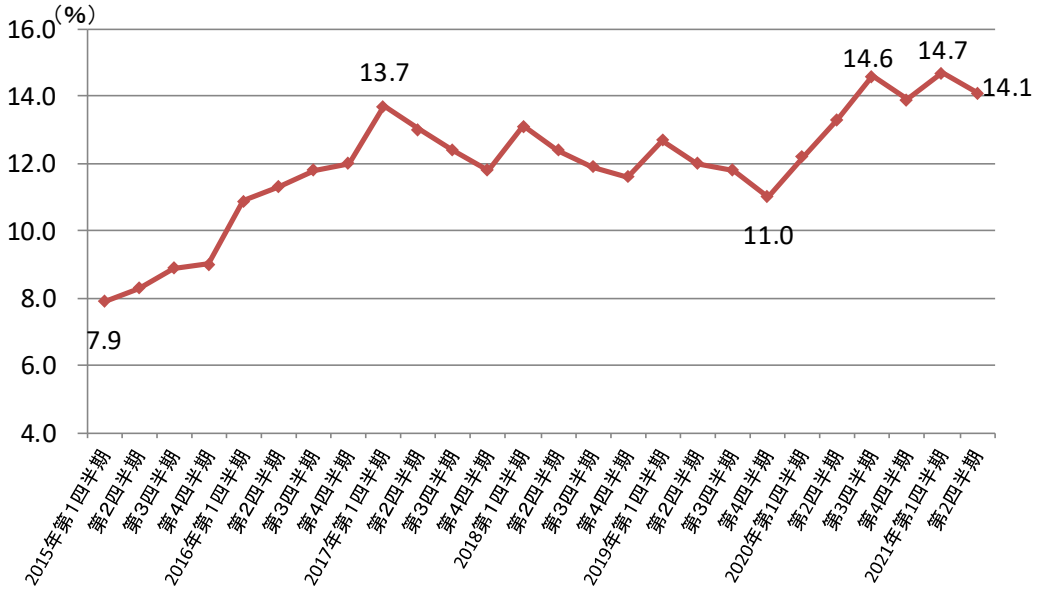


（出典）伯中央銀行

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移（3か月移動平均）

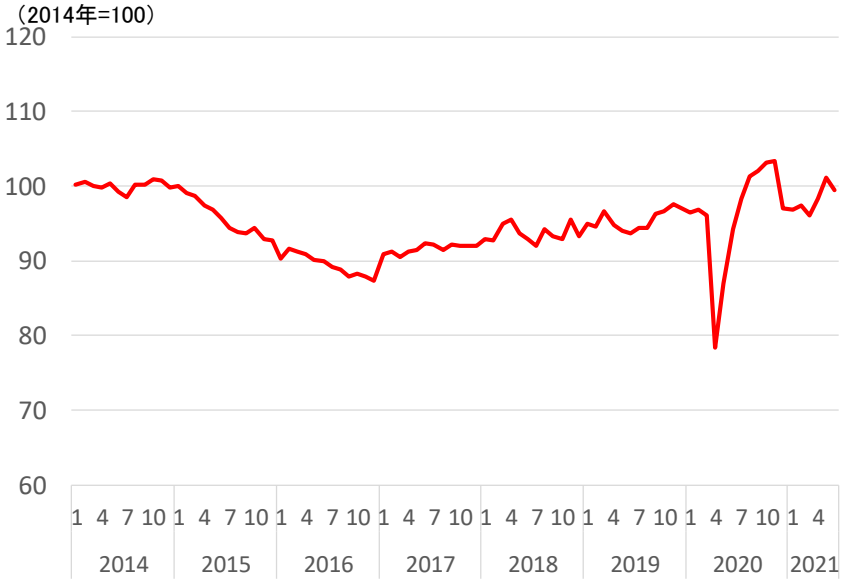
失業率（2021年第2四半期（4～6月））は14.1%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

小売売上高指数の推移（月次）

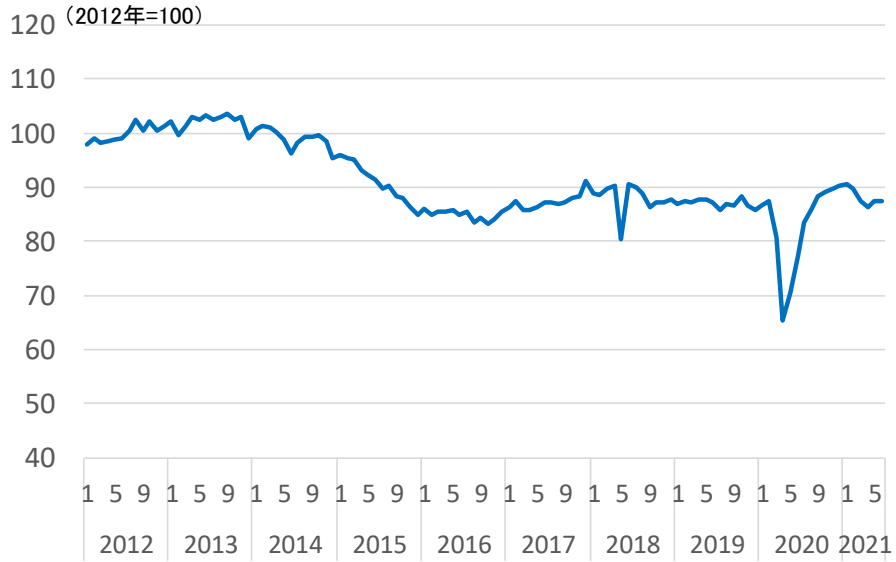
小売売上高（6月）は前月比▲1.7%、前年同月比+6.3%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

鉱工業生産指数の推移（月次）

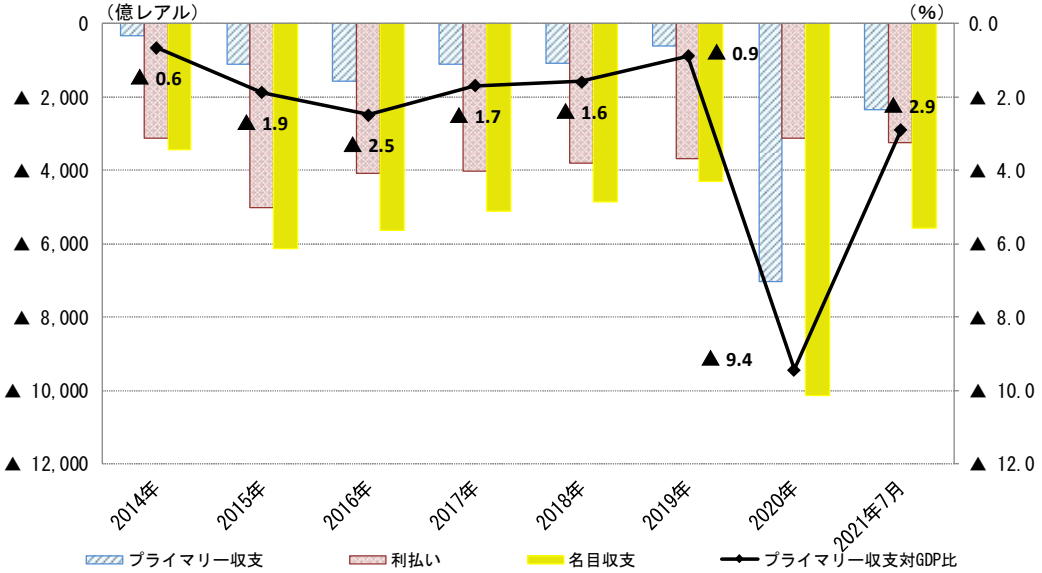
鉱工業生産（6月）は前月比0.0%と前月から横ばいとなった。前年同月比では+12.0%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

財政収支の推移

2021年7月のプライマリーバランスは▲2,347億レアル、利払いは▲3,235億レアル、名目収支は▲5,582億レアルとなった。



（出典）伯中央銀行

国際収支の動向

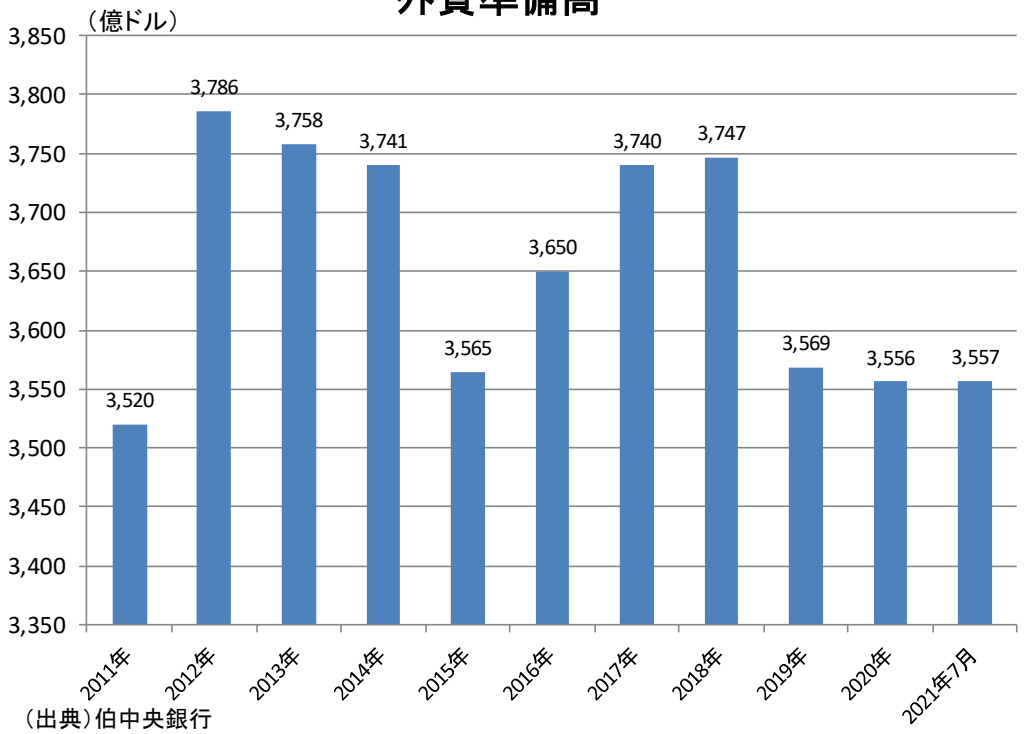
国際収支

（億ドル）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年1−7月
経常収支	▲ 245	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 259	▲ 83
貿易収支	445	573	434	265	324	264
サービス収支	▲ 306	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 92
第1次所得収支	▲ 415	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 397	▲ 275
第2次所得収支	31	21	▲ 0	12	23	20
資本移転収支	3	4	4	4	41	1
金融収支	▲ 161	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 186	▲ 97
直接投資	▲ 596	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 481	▲ 160
対外直接投資	147	213	20	228	▲ 35	158
対内直接投資	743	689	782	692	447	318
証券投資	200	177	69	192	136	▲ 52
金融派生商品	▲ 10	7	28	17	54	▲ 12
その他投資	152	69	113	▲ 128	247	108

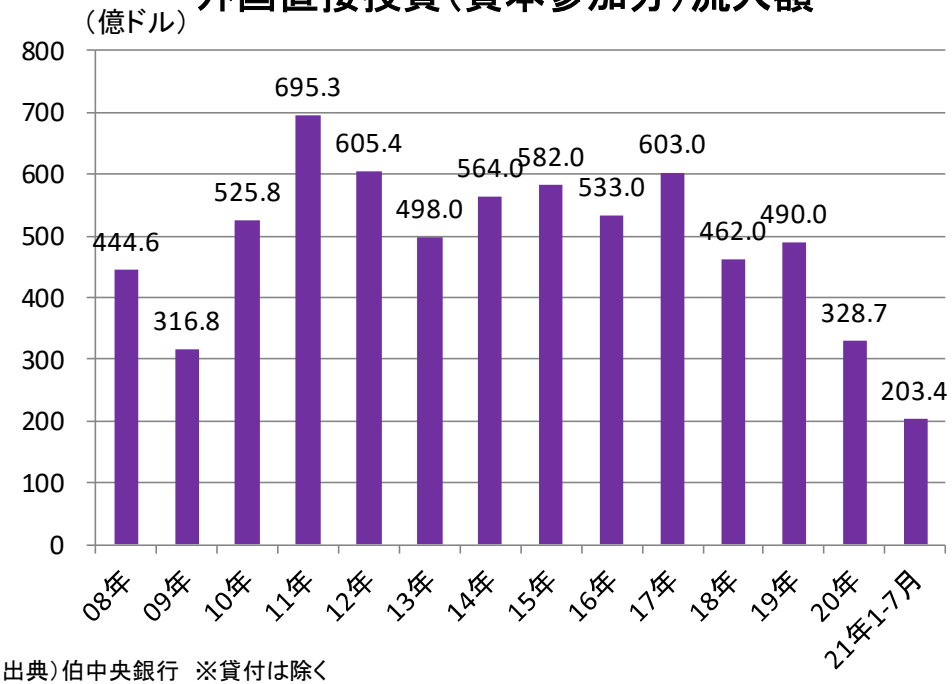
（出典）伯中央銀行

外貨準備高



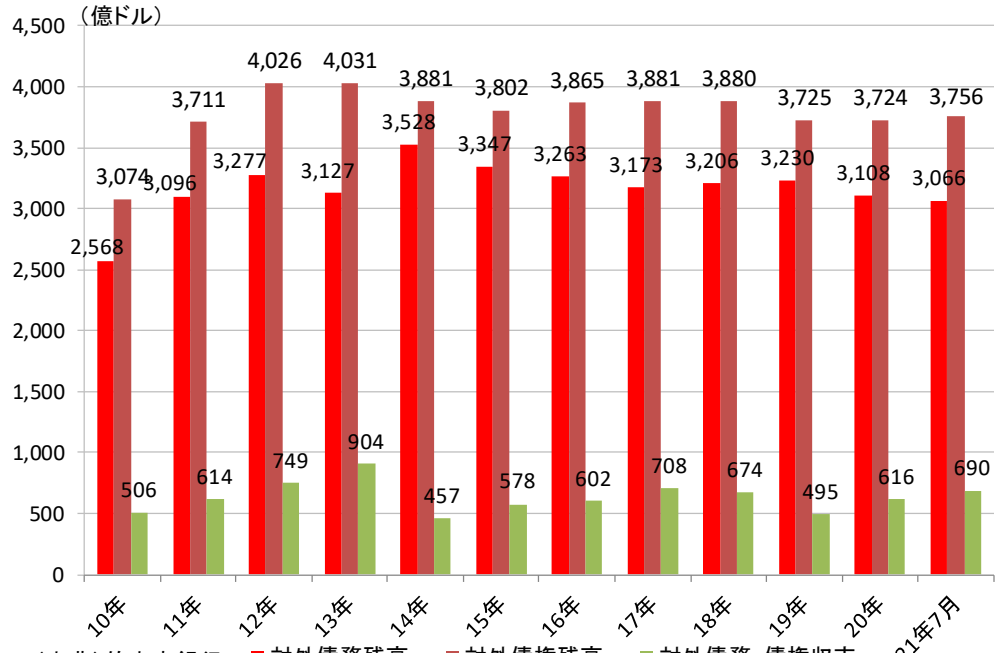
（出典）伯中央銀行

外国直接投資（資本参加分）流入額



（出典）伯中央銀行　※貸付は除く

対外債務・債権収支



（出典）伯中央銀行

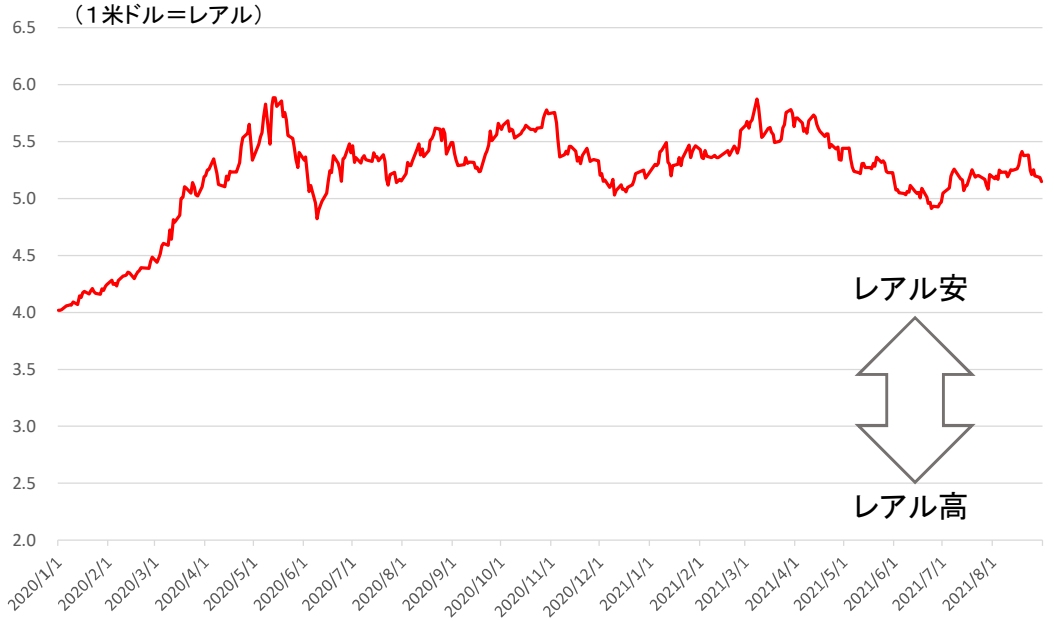
為替・株価の推移

８月の為替市場は5.14～5.41レアル/ドルで推移。

月の前半は、伯中銀が政策金利の引上げ幅を拡大するとの見方等からレアル高になるものの、大統領と司法の対立や、新社会保障制度アウシーリオブラジルの導入や税制改革案の投票延期とった政治や財政への先行き不安を背景にレアル安となる展開。

月の後半は、アフガニスタン情勢を背景とした地政学的リスクをはじめ、米国金融緩和の早期縮小観測や、コモディティ価格低下を背景にレアル安が進んだものの、財政懸念を払拭する高官発言や、米FRB議長が米国金融緩和について資産買入規模の縮小は年内に着手する可能性があるものの、利上げには厳しい基準を設ける等との発言でレアル高に戻す展開。

為替の推移（対米ドル）



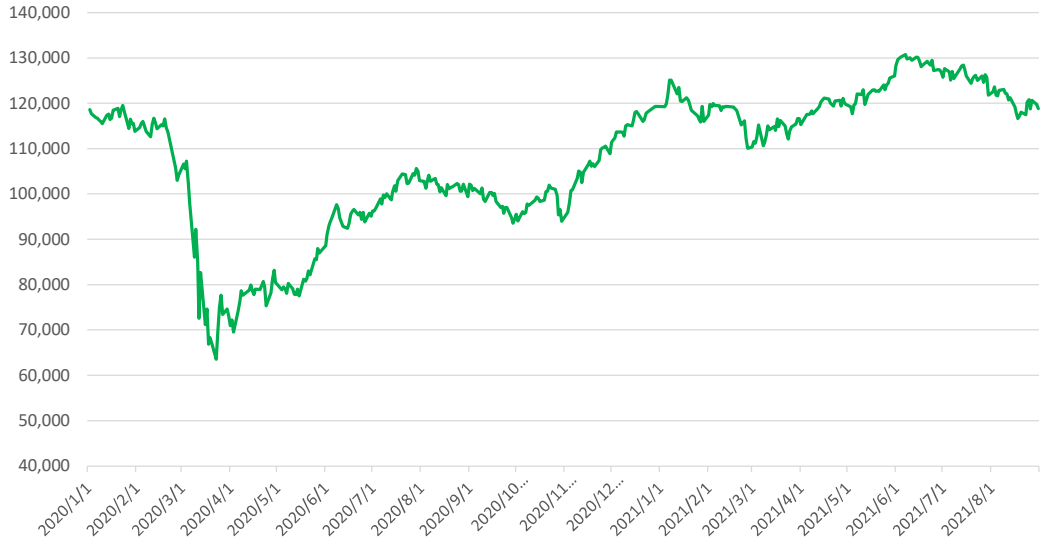
（出典）Bloomberg

８月の株式市場は116,643～123,577ポイントで推移。

月の前半は、国内企業等の良好な業績を好感して上昇するも、感染拡大や財政の見通しへの不安から下落する展開。

月の後半は、感染拡大による経済への見通し、鉄鉱石価格の下落、米国金融緩和の早期縮小観測により下落するも、月下旬の米FRB議長による低金利が当面継続するとの発言で持ち直す動き。

株価指数（Ibovespa）の推移

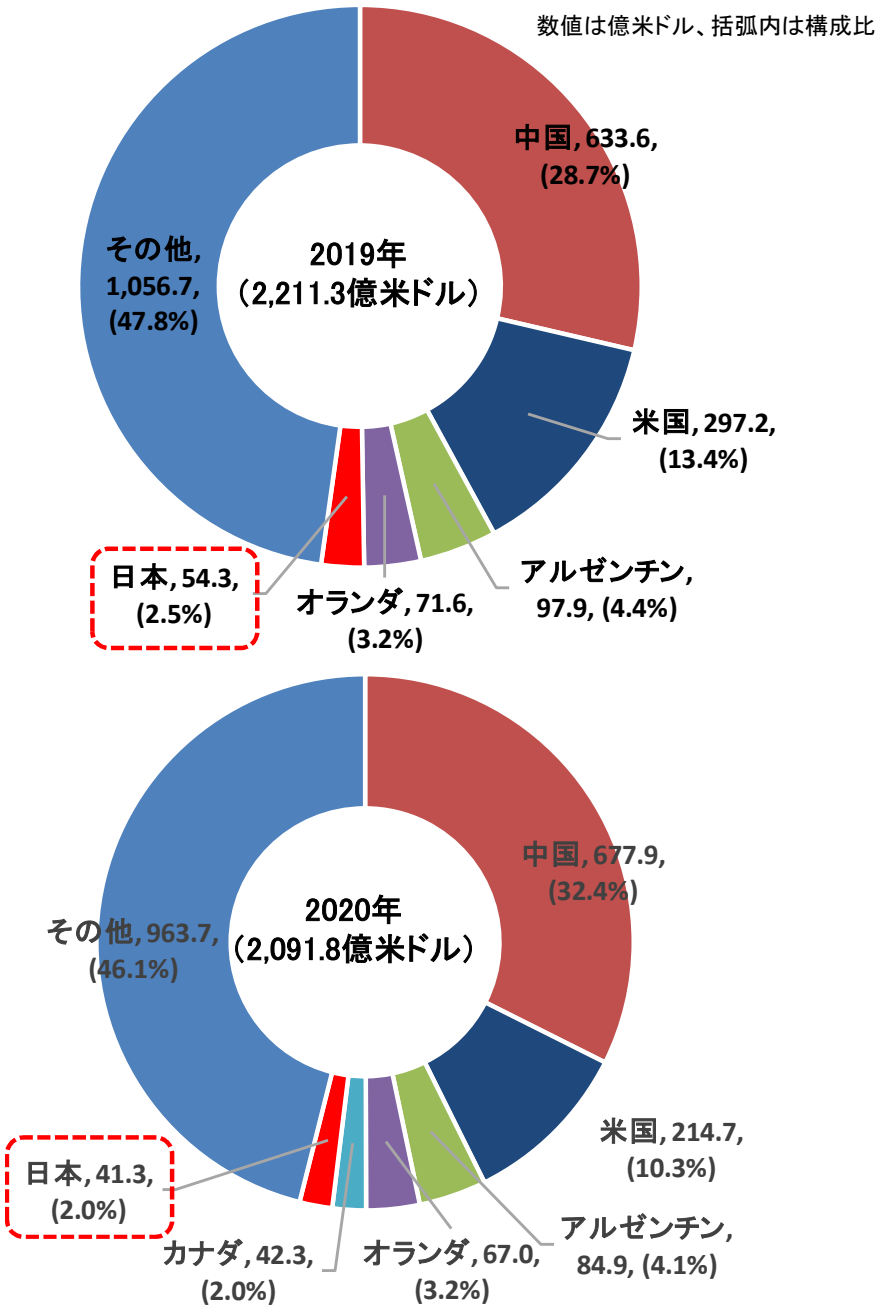


（出典）B3

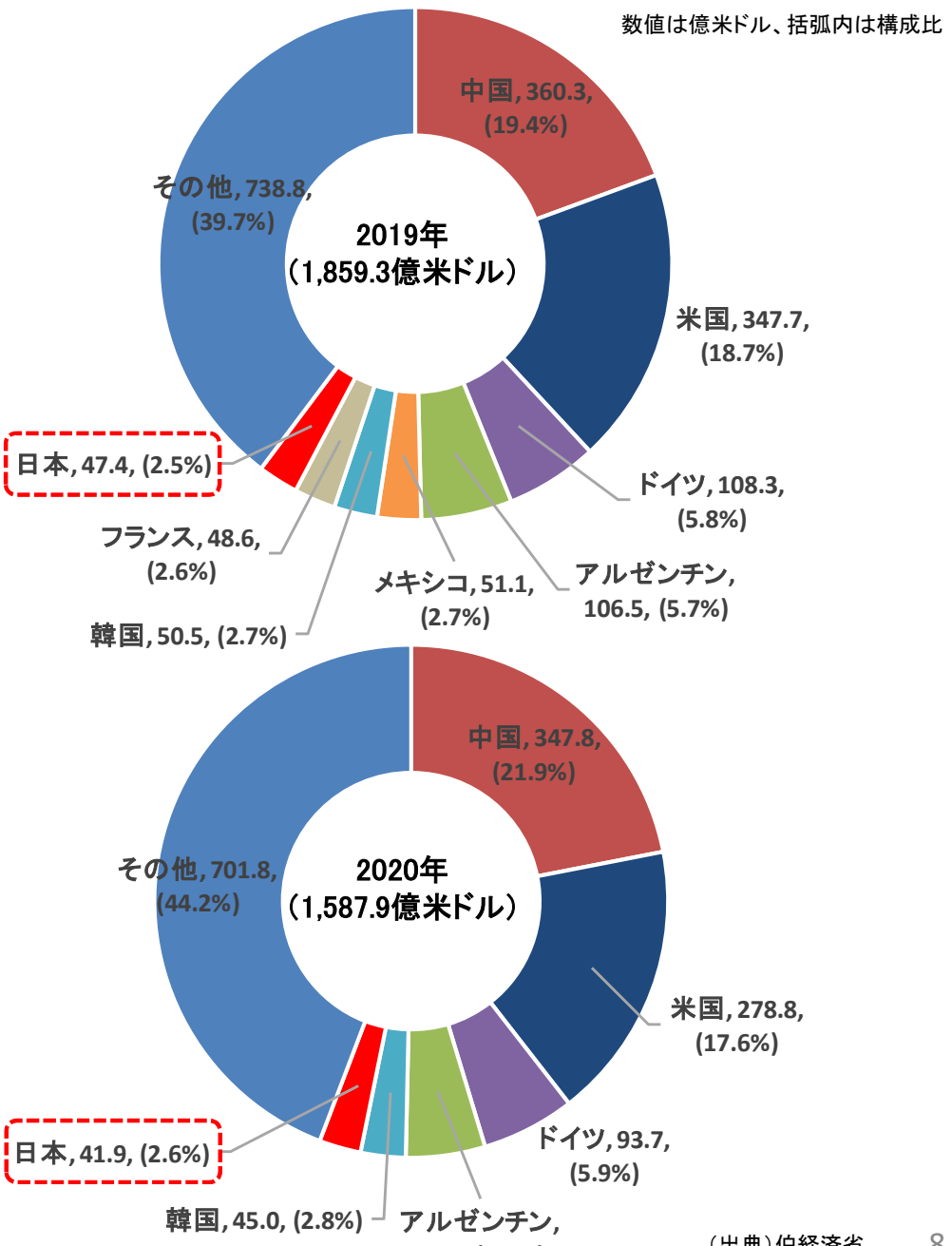
Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2020年においては、日本は貿易相手国としては輸出、輸入ともに上位6位となっている。

輸出額と構成比（国別）



輸入額と構成比（国別）

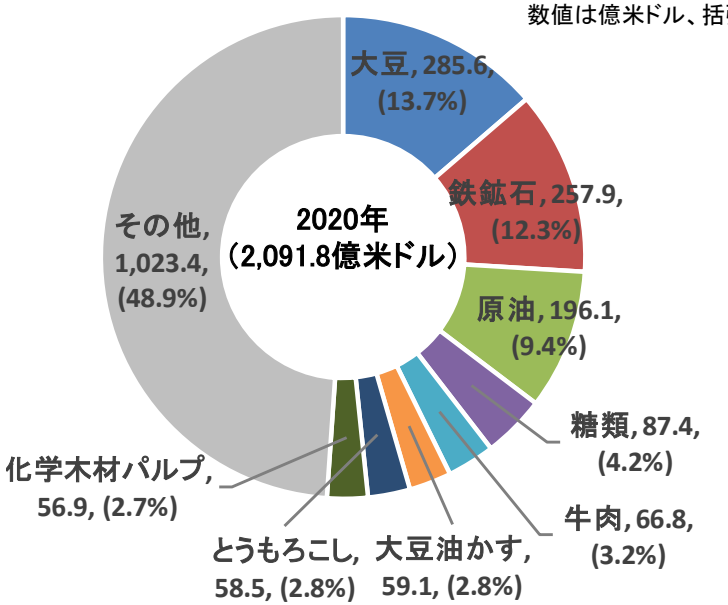


（出典）伯経済省

主要輸出品目は食品（大豆、肉類、糖類等）、資源（鉄鋼石、原油等）。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【大豆】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	285.6	100.0
①	中国	209.0	73.2
②	オランダ	11.1	3.9
③	スペイン	9.6	3.3
④	タイ	9.1	3.2
⑤	トルコ	7.2	2.5

【鉄鋼石】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	257.9	100.0
①	中国	185.2	71.8
②	マレーシア	16.9	6.6
③	日本	8.9	3.5
④	オマーン	5.8	2.3
⑤	オランダ	5.7	2.2

【原油】

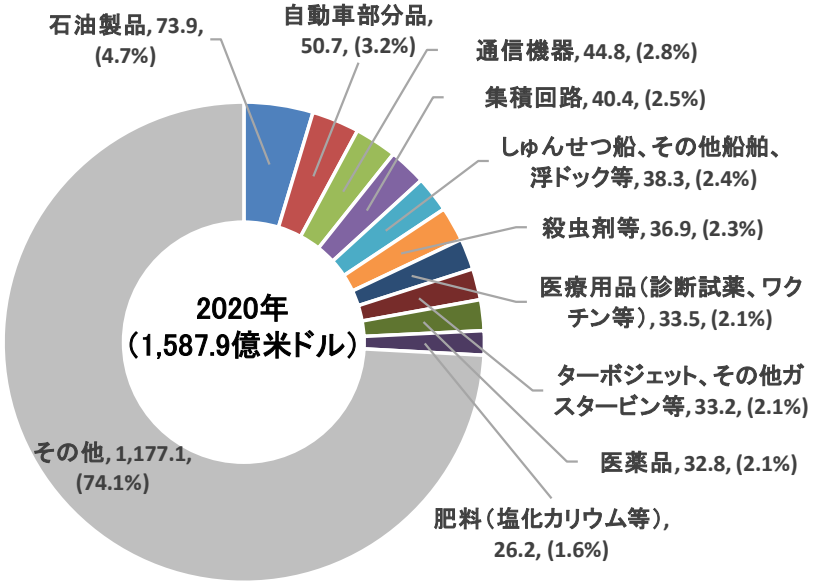
		億米ドル	構成比（%）
	合　計	196.1	100.0
①	中国	113.5	57.8
②	米国	13.6	6.9
③	インド	12.2	6.2
④	スイス	10.4	5.3
⑤	ポルトガル	9.1	4.6

【糖類】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	87.4	100.0
①	中国	12.9	14.8
②	アルジェリア	6.7	7.7
③	バングラデシュ	6.3	7.2
④	インド	4.8	5.5
⑤	インドネシア	4.7	5.3

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【石油製品】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	73.9	100.0
①	米国	53.2	72.0
②	スペイン	3.4	4.7
③	インド	2.6	3.5
④	オランダ	2.5	3.3
⑤	UAE	1.6	2.2

【自動車部分品】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	50.7	100.0
①	日本	6.2	12.2
②	中国	6.0	11.9
③	ドイツ	5.4	10.6
④	メキシコ	5.3	10.5
⑤	韓国	4.9	9.7

【通信機器】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	44.8	100.0
①	中国	28.1	62.6
②	ベトナム	7.9	17.6
③	米国	2.1	4.6
④	香港	1.2	2.8
⑤	メキシコ	1.2	2.6

【集積回路】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	40.4	100.0
①	韓国	10.2	25.3
②	中国	9.4	23.3
③	台湾	8.4	20.9
④	ベトナム	4.7	11.7
⑤	マレーシア	2.4	5.9

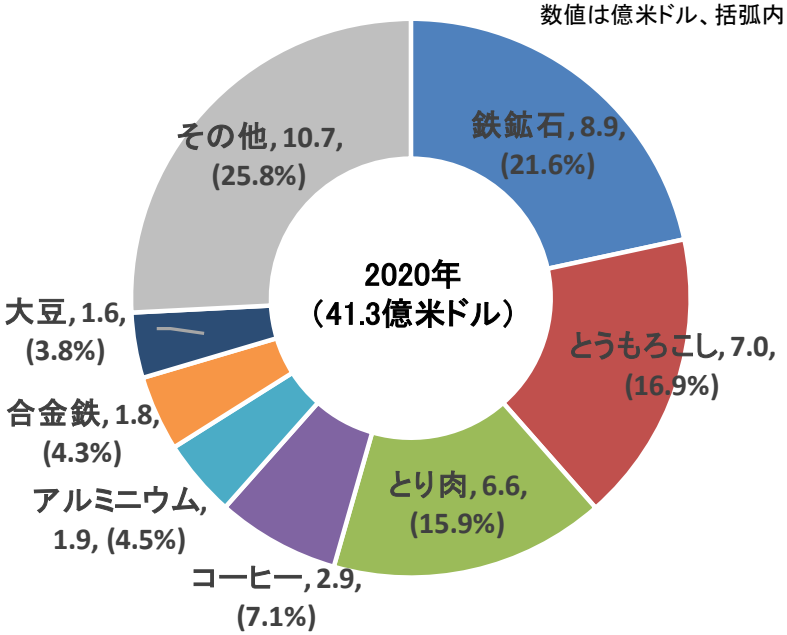
（出典）伯経済省

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（大豆、トウモロコシ、肉類、コーヒー等）、主要輸入品目は自動車関連（部分品、完成車）が中心となっている。

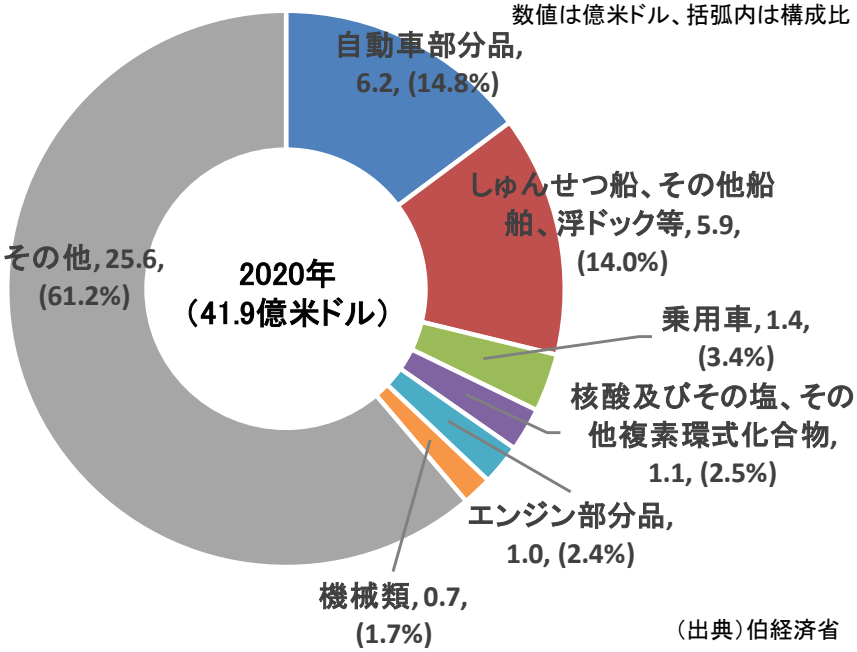
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



（出典）伯経済省

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比（2020年）

【鉄鉱石】

		億円	構成比（%）
	合　計	10,308.0	100.0
①	豪州	5,382.6	52.2
②	ブラジル	3,052.2	29.6
③	カナダ	738.4	7.2
④	南ア共和国	371.0	3.6
⑤	インド	208.8	2.0

【とうもろこし】

		億円	構成比（%）
	合　計	3,515.9	100.0
①	米国	2,245.6	63.9
②	ブラジル	1,204.9	34.3
③	南ア共和国	31.1	0.9
④	ロシア	16.4	0.5
⑤	フランス	7.5	0.2

【とり肉】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,216.5	100.0
①	ブラジル	791.1	65.0
②	タイ	372.6	30.6
③	米国	25.1	2.1
④	ハンガリー	9.8	0.8
⑤	フランス	9.2	0.8

【コーヒー】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,257.8	100.0
①	ブラジル	326.6	26.0
②	コロンビア	228.4	18.2
③	ベトナム	181.4	14.4
④	グアテマラ	106.6	8.5
⑤	エチオピア	81.5	6.5

【アルミニウム】

		億円	構成比（%）
	合　計	3,825.1	100.0
①	ロシア	728.2	19.0
②	豪州	633.5	16.6
③	UAE	527.3	13.8
④	NZ	356.3	9.3
⑤	中国	269.5	7.0
⑥	ブラジル	226.8	5.9

【合金鉄】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,806.2	100.0
①	カザフスタン	385.1	21.3
②	ブラジル	236.3	13.1
③	ロシア	191.0	10.6
④	南ア共和国	186.0	10.3
⑤	インド	147.3	8.2

【大豆】

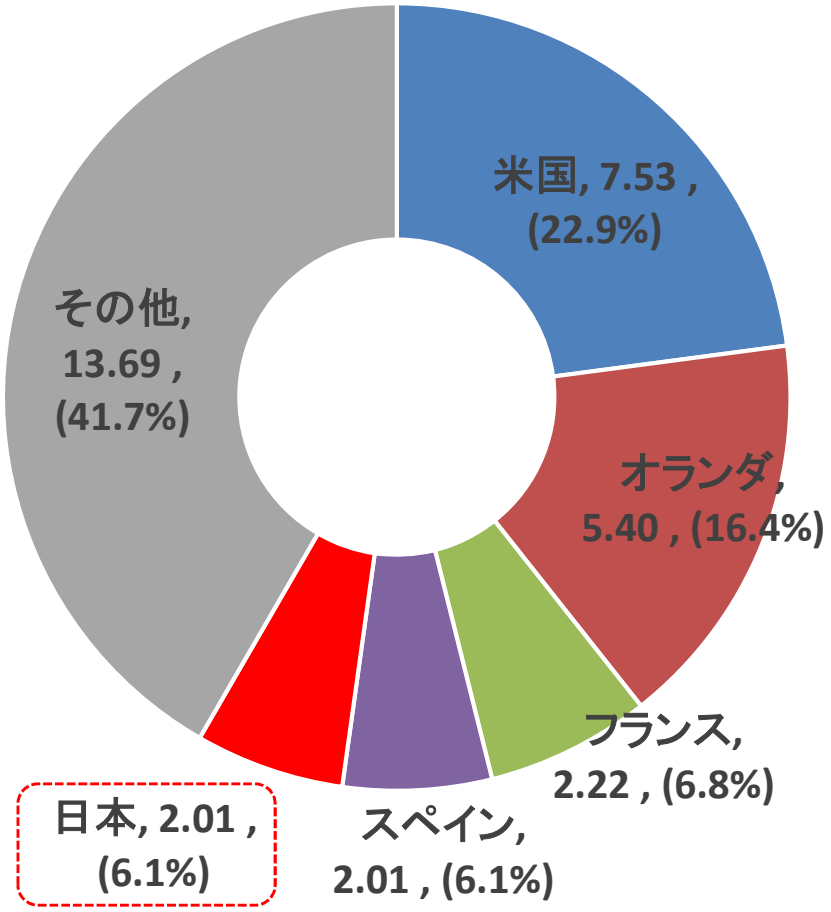
		億円	構成比（%）
	合　計	1,591.6	100.0
①	米国	1,158.3	72.8
②	カナダ	221.4	13.9
③	ブラジル	184.6	11.6
④	中国	24.6	1.5
⑤	ロシア	2.3	0.1

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄（フェロアロイ）7202、大豆1201

（出典）財務省（日本）

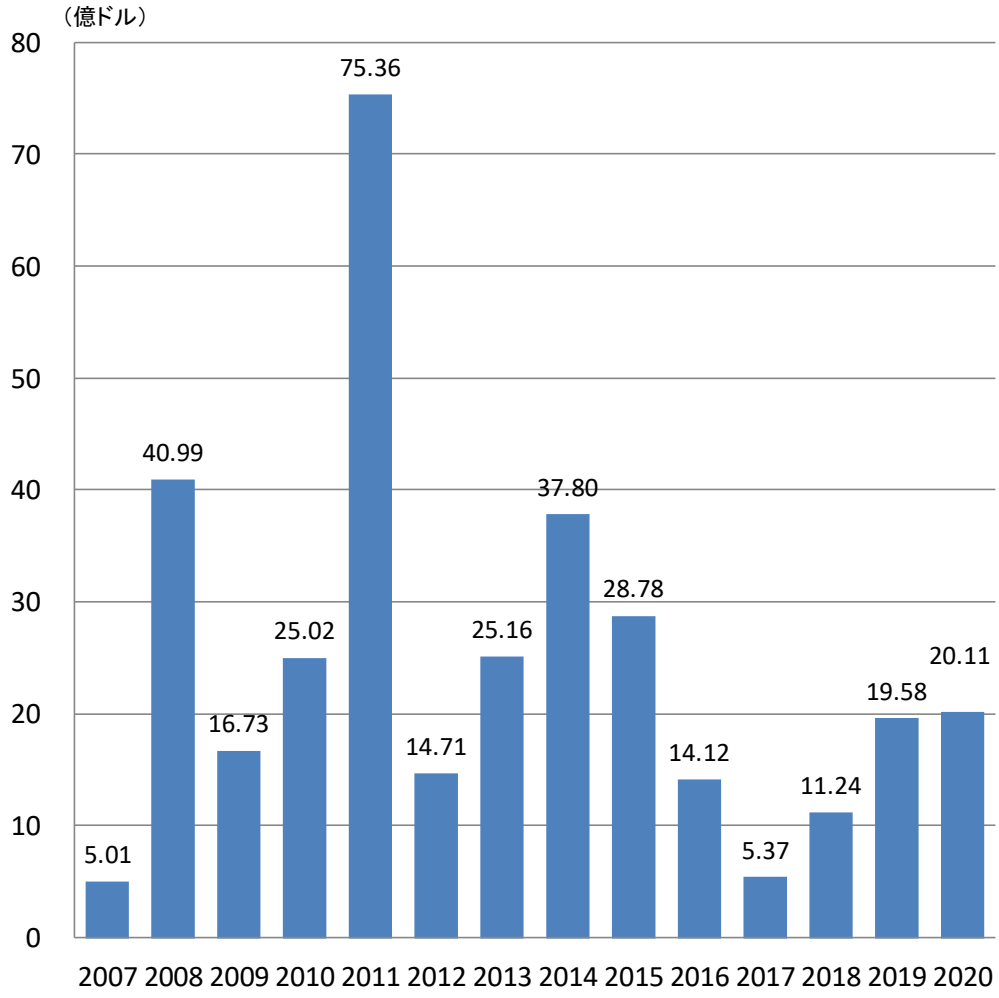
Ⅳ. 日伯投資

対ブラジル直接投資（資本参加分）の国別構成比
総額328.69億ドル（2020年）



（出典）伯中央銀行

日本の対ブラジル直接投資（資本参加分）の推移



（出典）伯中央銀行

※ 中国：0.44%。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。